
令和 3 年 度

事業報告書

社会福祉法人育美会
貴精保育園

令和3年度事業報告

ひとりひとりの思いを大切に考え対応していく保育を行いました。

法人職員とも連携を密にし、保育園同士では都度、情報交換をして運営しました。

1. 家庭との連携

新型コロナウイルスに感染した園児やご家庭への対応に気を付けました。

園で登園自粛のお願いをしたり、保育園の対応に不満や意見を持つご家庭もあったので丁寧に対応するよう心掛けました。

問題を抱えている家庭に対しては担任だけでなく、場合によっては園長や主任が話を聞いたり行政に相談しながら対応しました。

2. 保育について

ひとりひとりの思いを大切にする保育を実践していくため、子ども達がのびのびと生活できるように皆で協力して保育を行いました。

全職員で発達障害を持つ子どもの特性を理解し、スムーズに保育が行えるように協力しました。今年度も法人内での交流ができずに残念でした。

食育では4歳児、5歳児が中心になり園庭で野菜を育てたり野菜の皮むきなどを感染防止に気を付けながら行いました。

コロナ禍で行事が減ってしまいましたが、それでも子ども達が楽しんで取り組めるよう工夫して行いました。

3. 健康、安全管理について

8月に園児で感染者が出て保育園内で濃厚接触者に該当する園児、職員が出た為、園内でPCR検査を実施しました。保健所の指示のもと2歳児クラスの園児、職員を対象に検査を行ったところ職員1名、園児1名の感染が判明しました。その後はクラスで感染が広がる事はありませんでしたが、園全体でより一層、感染防止に努めました。

また、2月にコロナ感染者が出た際に同じクラスの濃厚接触者に該当する園児がPCR検査を受けました。その際は検査を受けた園児は陰性という結果でしたが、保健所より食事の際の距離とパーティションの有無を指摘されたのですぐに改善しました。

同じ園児が二度、腕を骨折した。という事がありました。保育室内と散歩先での事故だったので職員で情報を共有し再発防止に努めました。

4. 併用事業

一時保育は年間でのべ379人の利用者を受け入れ各年令のクラスで一緒に楽しく生活しました。

支援事業(つどいの広場)は、園児からコロナ感染者が出て登園自粛を要請した際は休室となりました。

今年度も予約制で1日3組まで、という事で開室しました。

つどいの広場では利用者からの相談を受けたり地域の子育ての援助も行いました。

5. 防災管理について

緊急災害に対する対策としての避難訓練を毎月行い、時間帯、内容、方法に変化をつけて実施しました。

6. コロナウイルス感染拡大の影響

夏に感染者が出て園内で感染が拡大することはなかったものの、その後も園児や家族、職員が感染してしまいました。

行政の指導のもと登園自粛要請や園内の消毒作業などの感染対策を見直しながら保育を行いました。

7. 工事および備品購入について

- ・備品購入…0才児、1歳児、幼児、食事用テーブル
- ・メンテナンス…玄関引き戸レール交換
- ・保育材料…ブロック